

県内医学部の学生と地域医療について語る会
2018（平成30）年2月4日（日）

神奈川県地域医療提供体制

神奈川県保健福祉局
保健医療部 医療課長
足立原 崇

NIPPON MARU

Ph



Summary

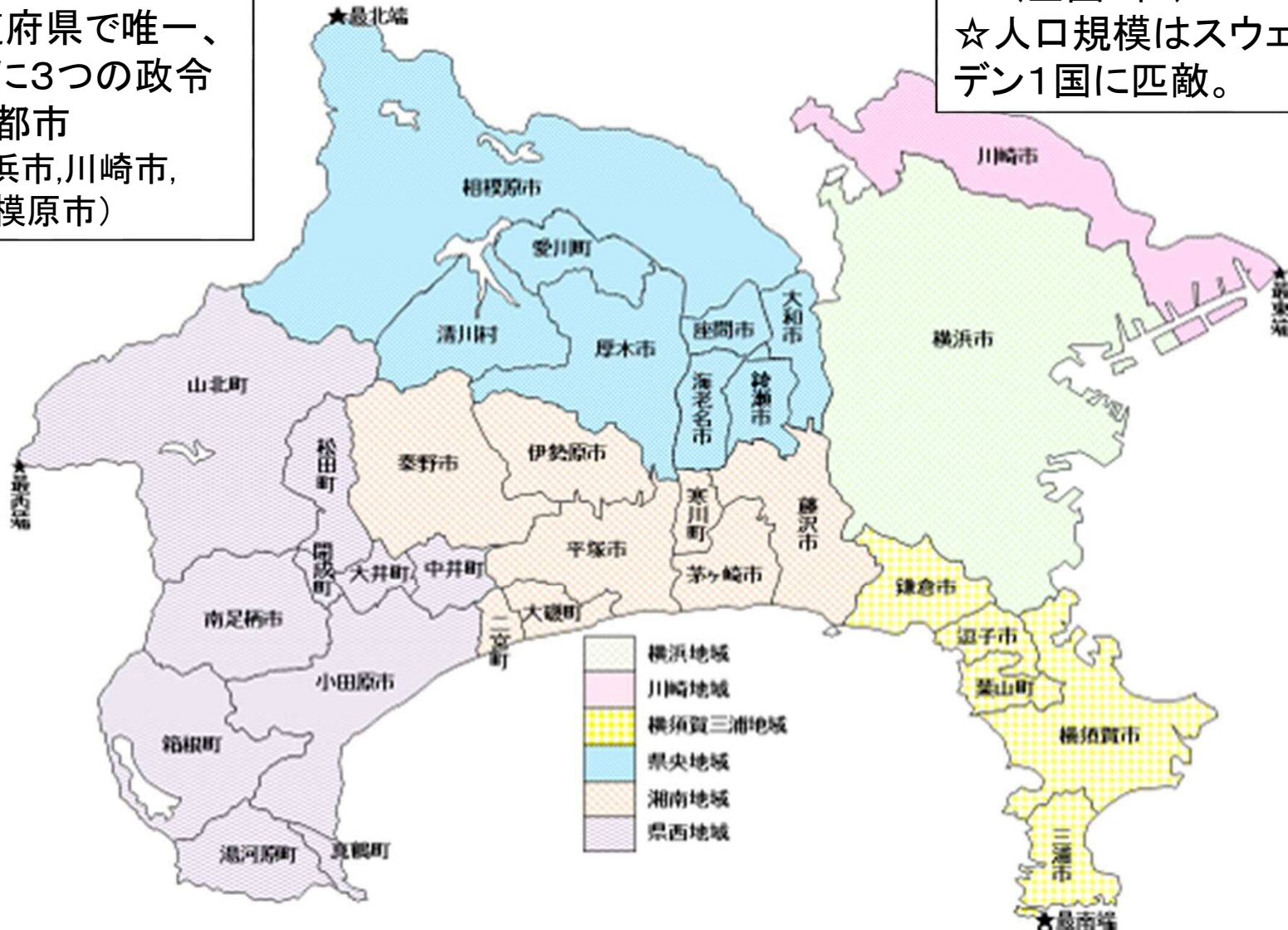
1. 神奈川県医療資源
2. 神奈川県医療計画
3. 医師の状況（全国）
4. 医師の状況（神奈川県）
5. 神奈川県医学部地域枠
6. 地域医療支援センター

1. 神奈川県医療資源

神奈川県人口と市町村

☆県内に33市町村
 (市19,町13,村1)
 ☆都道府県で唯一、
 県内に3つの政令
 指定都市
 (横浜市,川崎市,
 相模原市)

☆人口 約915万人
 (全国2位)
 ☆人口規模はスウェー
 デン1国に匹敵。



神奈川県医療資源の立ち位置は？①

人口規模が大きいので、医療機関や医師・看護師等の総数(絶対数)は当然多い。

◆人口： 約915万人 (全国2位)

◆病院の施設数(総数)： 341病院 (全国7位)

◆病院病床数(総数)： 73,964床 (全国5位)
(精神病床等含む)

◆医療施設従事医師数(総数)： 18,784人(全国3位)

◆就業看護師数(総数)： 62,794人 (全国3位)

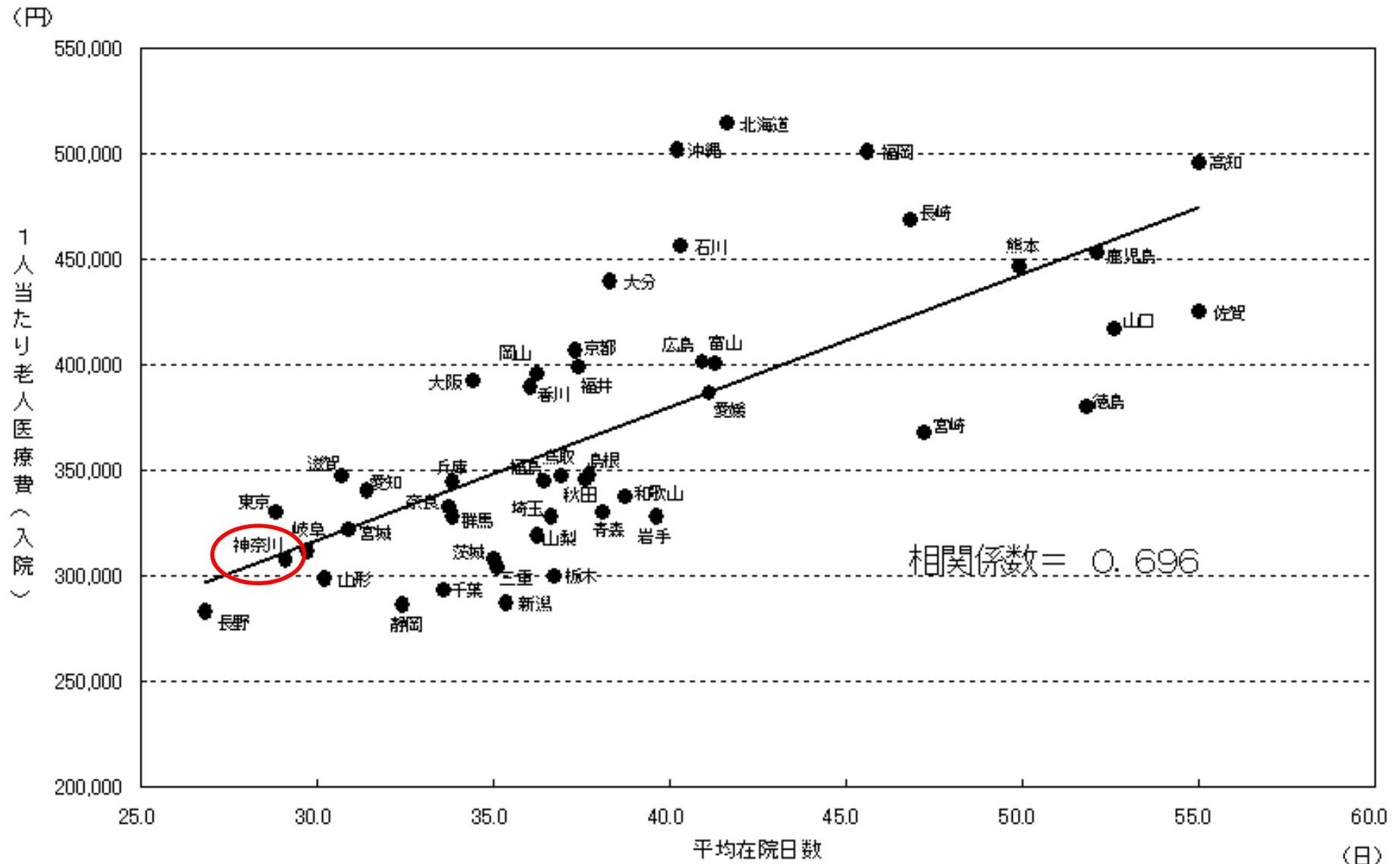
神奈川県医療資源の立ち位置は？②

しかし、人口10万人あたりの医療資源で見ると、、、

- ◆病院の施設数(人口10万人あたり): 3.7病院^(H27)
(全国47位)
- ◆病院病床数(人口10万人あたり): 810.5床^(H27)
(精神病床等含む) (全国47位)
- ◆医療施設従事医師数(人口10万人あたり): 205.4人^(H28)
(全国39位)
- ◆就業看護師数(人口10万人あたり): 686.6人^(H28)
(全国45位)

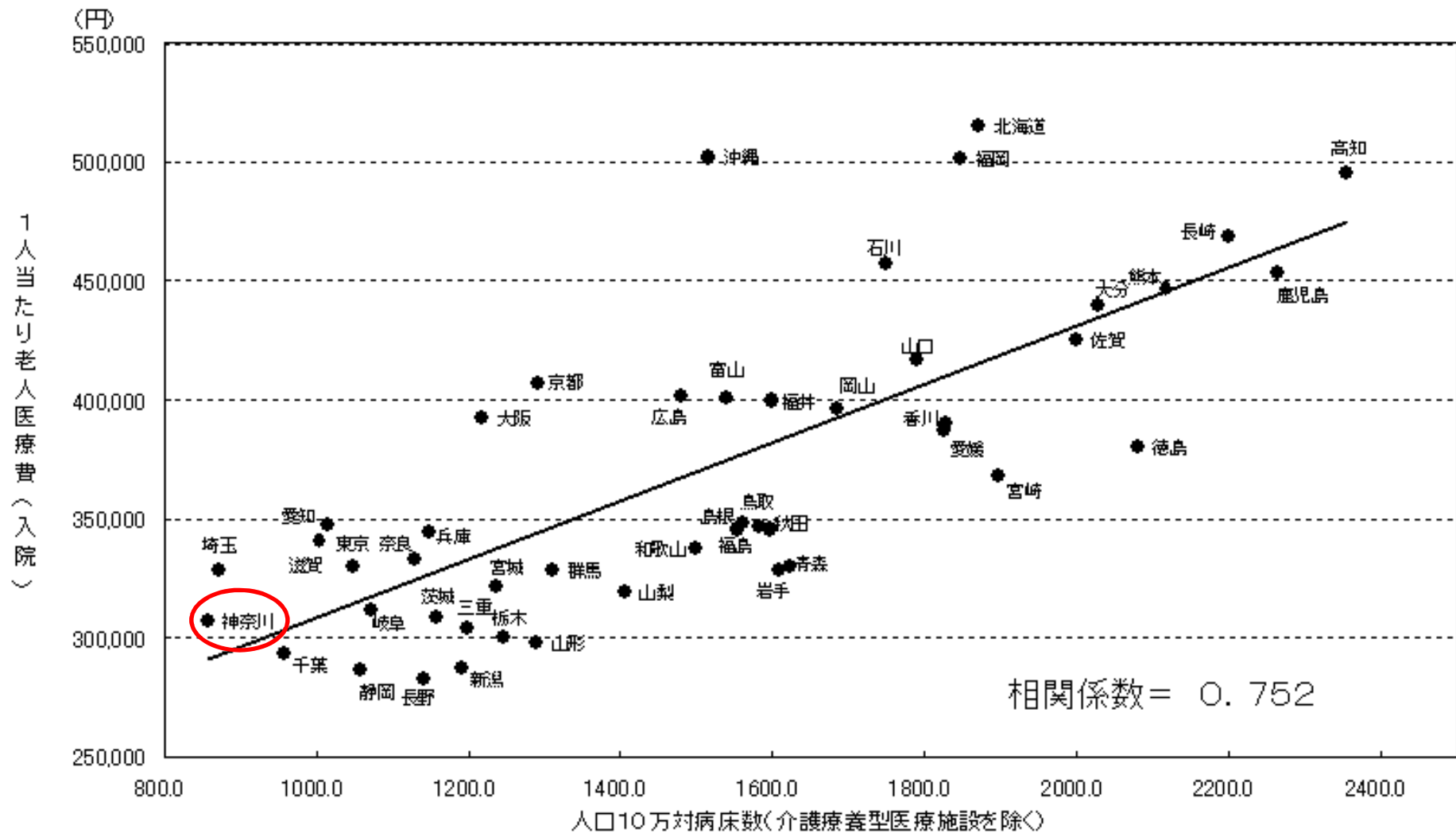
実数は、第7次保健医療計画改正素案(H29.12)より引用

平均在院日数と1人当たり老人医療費(入院)



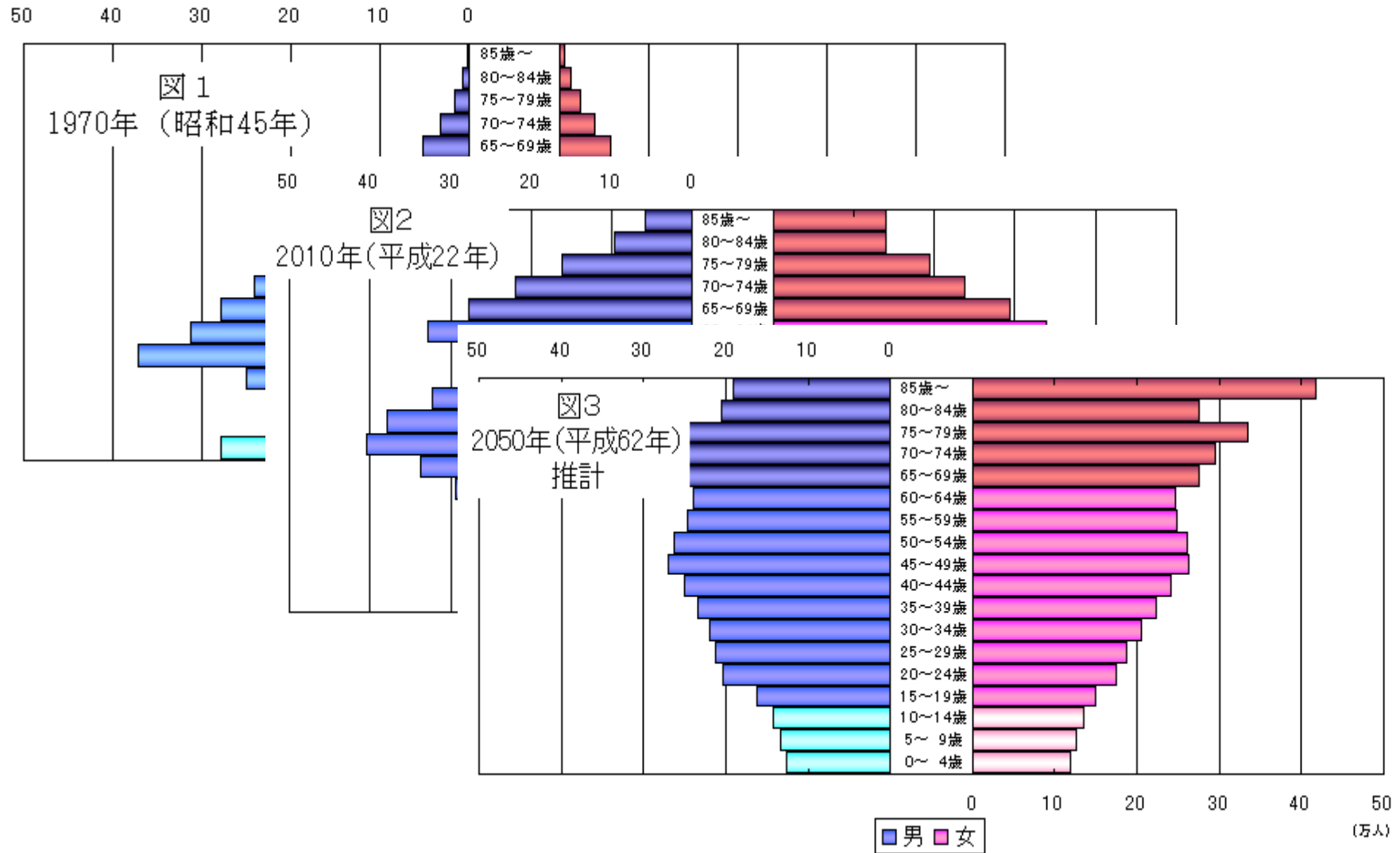
出展: 医療制度改革大綱による改革の基本的考え方(平成18年1月31日 厚生労働省)

人口10万対病床数と1人当たり老人医療費(入院)



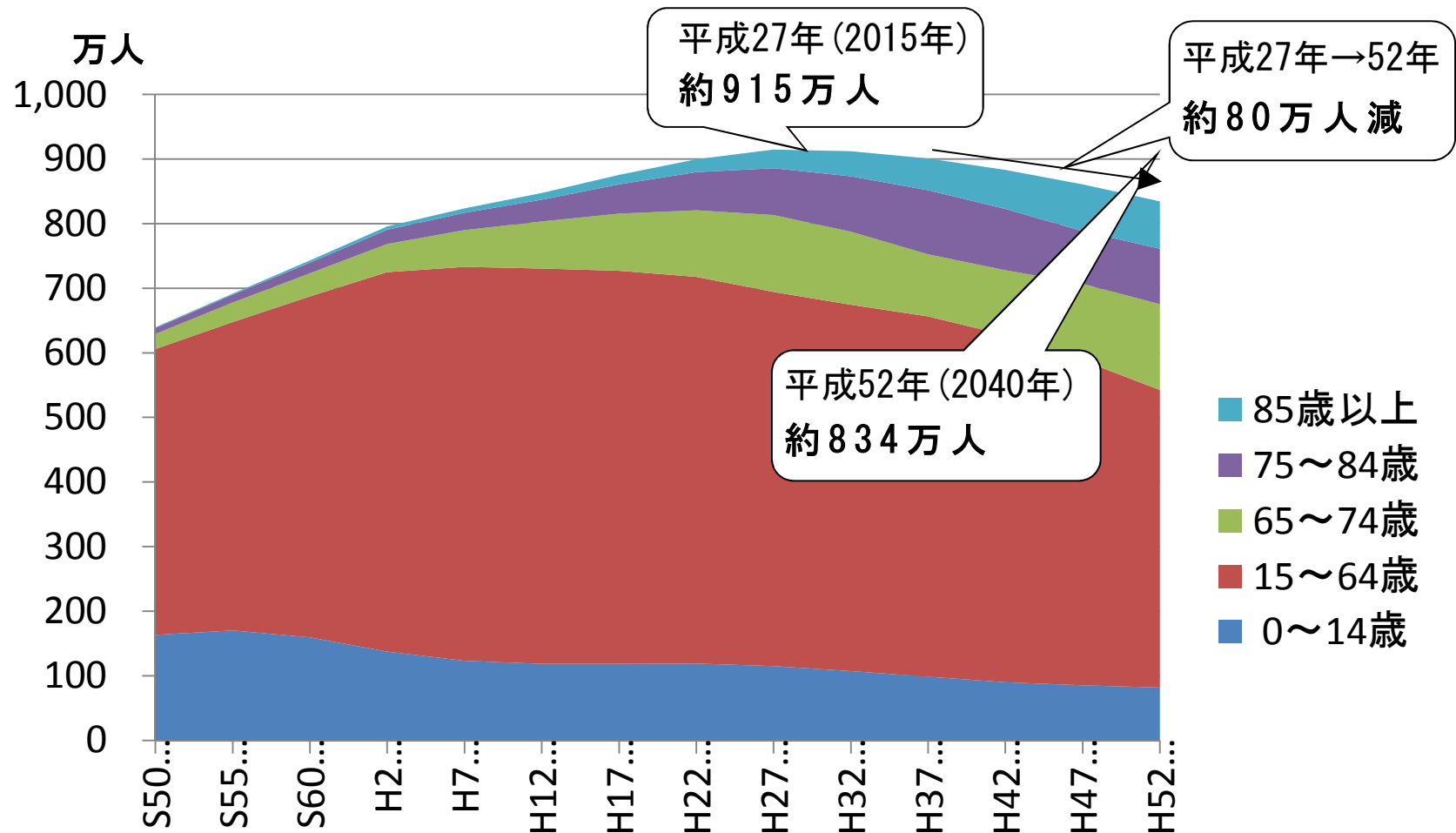
出展: 医療制度改革大綱による改革の基本的考え方(平成18年1月31日 厚生労働省)

神奈川県の人人口ピラミッド



(かながわグランドデザイン基本構想)

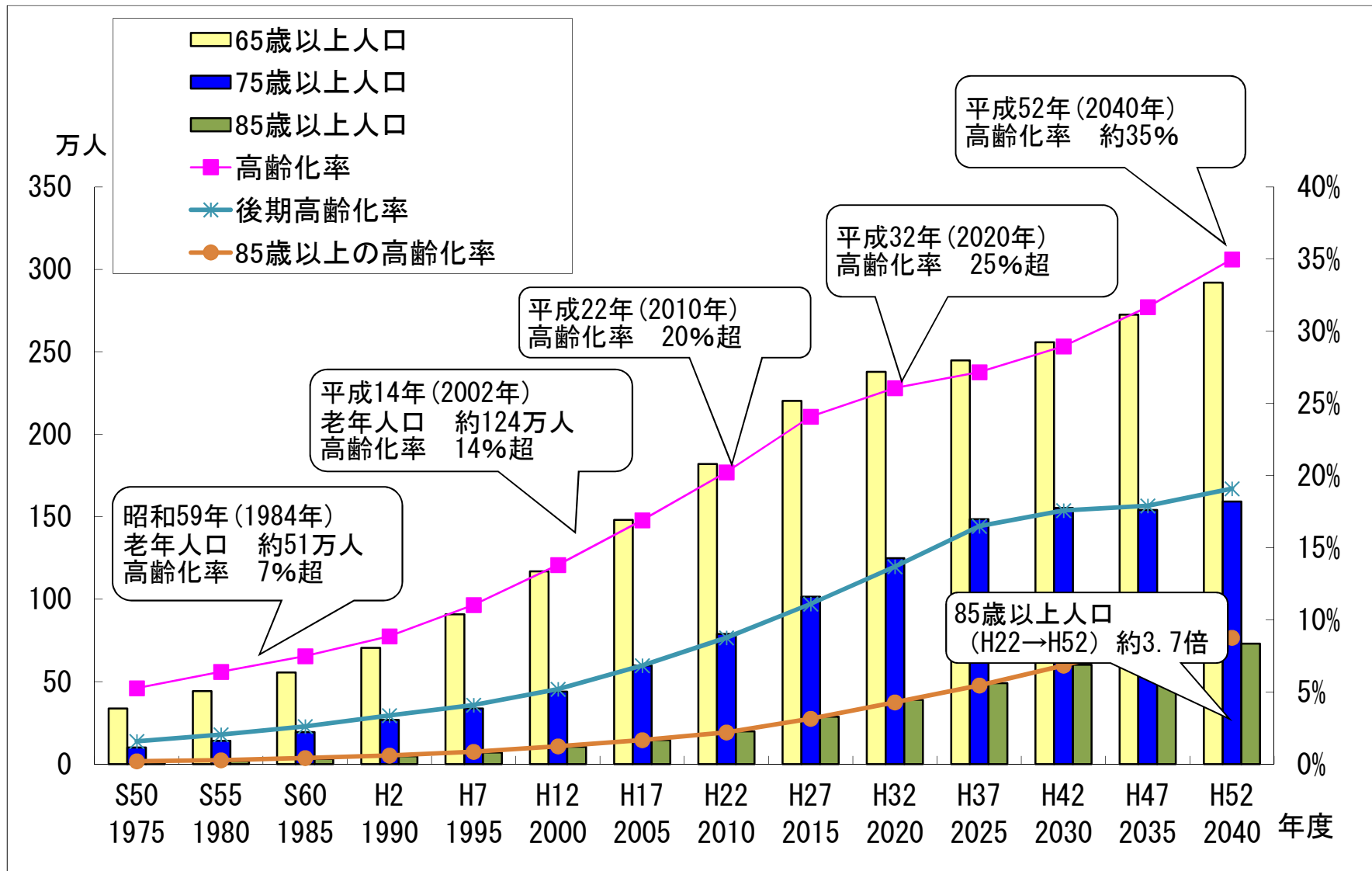
本県における総人口の推移



注1 平成22年度までは、国勢調査による。

2 平成27年度以降は、国立社会保障・人口問題研究所による推計。(本県も独自に推計を行っているが、他県との比較等を可能にするため、国立社会保障・人口問題研究所の推計を使用。)

(第2次かながわ高齢者保健福祉計画)



注1 平成22年度までは、国勢調査による。

2 平成27年度以降は、国立社会保障・人口問題研究所による推計。

(第2次かながわ高齢者保健福祉計画)

2. 神奈川県医療計画

保健医療計画とは

地域の実情に応じて都道府県における医療提供体制の確保を図るための計画を定めるもの（医療法第30条の4）

第6次神奈川県保健医療計画 （平成25年度～平成29年度）

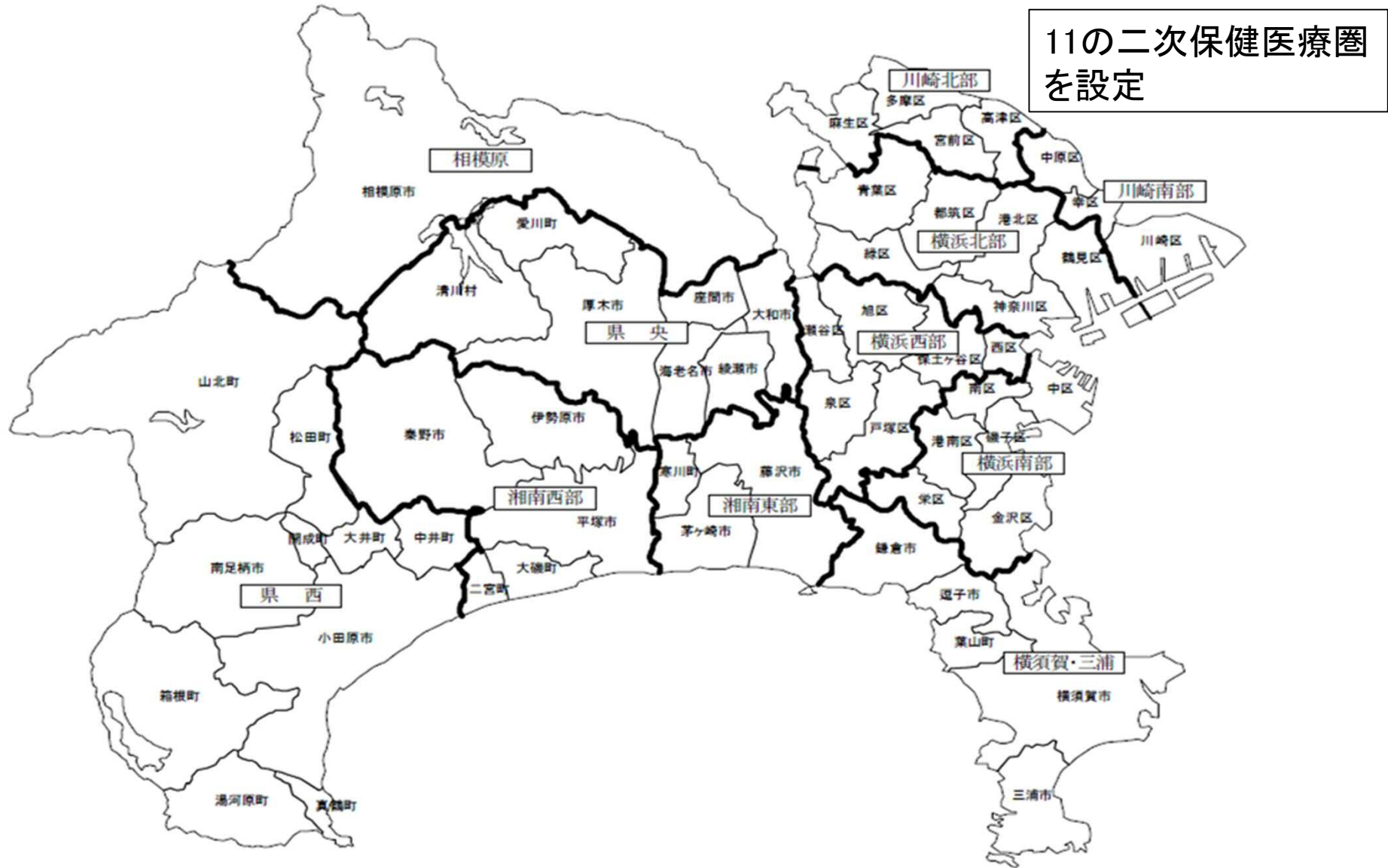
【基本理念】

- すべての県民が健やかに安心してくらせる社会や納得できる医療の実現に向けて、「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」こと。

【基本目標】

- 患者が身近なところで、質の高い医療を安心して受けられるよう、医療機関相互の連携の下で、切れ目のない保健医療福祉サービスを提供する体制を整備する。

神奈川県二次保健医療圏



11の二次保健医療圏
を設定

(平成29年4月1日現在)

二次保健医療圏別 基準病床数

二次保健医療圏	基準病床数	既存病床数	過不足病床数
横浜北部	8,726	8,709	△17
横浜西部	7,049	7,346	297
横浜南部	6,415	6,814	399
川崎北部	4,353	4,362	9
川崎南部	4,059	4,814	755
相模原	6,494	6,564	70
横須賀・三浦	5,334	5,357	23
湘南東部	4,394	4,319	△75
湘南西部	4,996	4,901	△95
県央	5,252	5,233	△19
県西	2,913	3,155	242
合計	59,985	61,574	1,589

県全域	基準病床数	既存病床数	過不足病床数
精神病床	12,958	13,976	1,018
感染症病床	74	74	0
結核病床	166	166	0

＜基準病床数とは＞

- ・ 病床を整備するための目標
- ・ 基準病床数を超える病床の増加を抑制する基準

保健医療計画では、医療法第30条の4第2項に基づき、国の定める算定方法により、療養病床及び一般病床は二次保健医療圏ごとに、精神病床、感染症病床、結核病床はそれぞれ県全域を範囲として基準病床数を定める。

(平成29年3月31日現在)

二次保健医療圏の主な医療機能

二次医療圏	救命救急センター	災害拠点病院	がん診療連携拠点病院	地域医療支援病院	分娩取扱施設数
横浜 (北部、西部、南部 合計)	9	13	8	16	59
川崎北部	1	3	1	1	13
川崎南部	2	3	2	3	14
相模原	1	3	2	2	13
横須賀・三浦	3	2	1	3	16
湘南東部	1	2	1	2	18
湘南西部	2	3	1	3	10
県央	1	2	1	3	13
県西	1	2	1	1	4
合計	21	33	18	34	160

(平成29年10月1日現在)

第7次保健医療計画の策定(改定)

第7次神奈川県保健医療計画
(平成30年度～平成35年度)

県内各地域で
改定に向けた
検討を実施中

改定の視点

- 1 「神奈川県地域医療構想」の推進(法定)
- 2 県の高齢者保健福祉計画、市町村の介護保険事業計画との整合。地域包括ケアの推進(法定)
- 3 未病の改善など、本県独自の政策「ヘルスケア・ニューフロンティア」の推進(独自)

地域医療構想

＜策定趣旨等＞

- 医療・介護ニーズのさらなる増大が見込まれる2025年に向け、地域の限られた資源を有効に活用し、将来において不足する病床機能の確保及び連携体制の構築、地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実、それらを支える人材の確保・養成を図ることを目的に、その取組みの方向性を示す

神奈川県地域医療構想
(平成28年10月策定)

＜策定根拠＞

医療法第30条の4第2項第7号及び第8号

＜記載事項＞

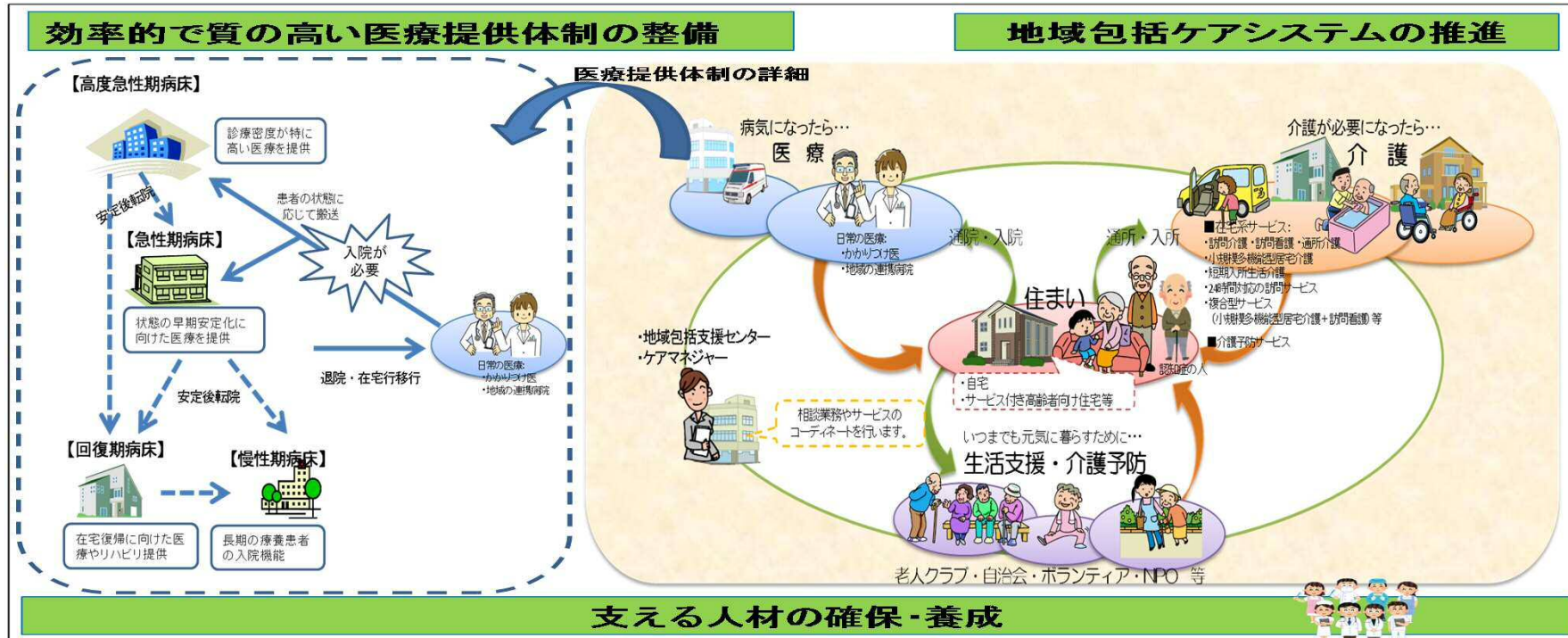
- 1 構想区域ごとに厚生労働省令で定める計算式により算定された以下の数値
 - ア 病床の機能区分ごとの将来の病床数の必要量
 - イ 将来の居宅等における医療（在宅医療等）の必要量
- 2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能分化及び連携の推進に関する事項

＜対象期間＞

平成37年（2025年）まで

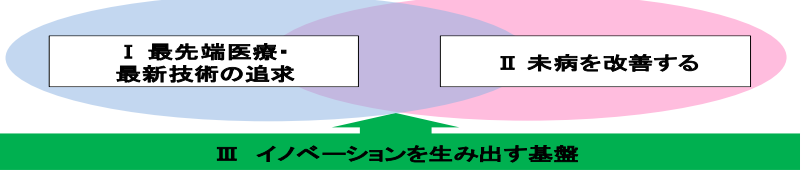
神奈川の将来のめざすがた

誰もが元気でいきいきと暮らしながら、必要となときに身近な地域で質の高い医療・介護を安心して受けられる神奈川



医療・介護ニーズの伸びの抑制

新たな社会システムの形成や健康寿命を延ばす取組み



将来の医療需要を踏まえた医療提供体制を 目指すための課題と施策の方向性

- 1 将来において不足する病床機能の確保及び連携体制の構築
- 2 地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実
- 3 将来の医療提供体制を支える医療従事者の確保・養成

2025年の神奈川県医療需要の推計（県全体）

（単位：床）

必要病床	現行(2015年)	推計(2025年)	増減
高度急性期	12,137	9,419	△2,718
急性期	28,658	25,910	△2,748
<u>回復期</u>	4,958	20,934	<u>15,976</u>
慢性期	14,487	16,147	1,660
未選択等	1,523	—	—
計	61,763	72,410	<u>10,647</u>

（単位：人）

在宅医療	現行(2013年)	推計(2025年)	増減
在宅医療等	83,775	138,718	<u>54,943</u>

(1) 人口の将来推計

図 神奈川県の子年齢区分別人口の推移

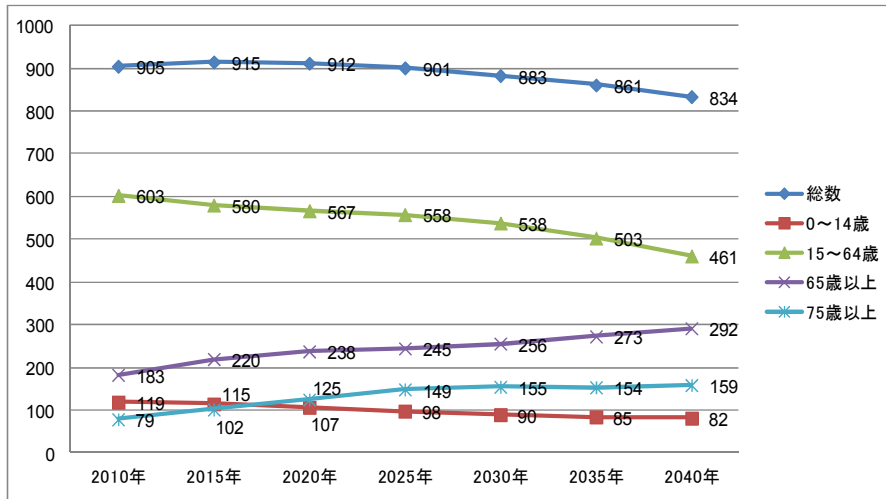
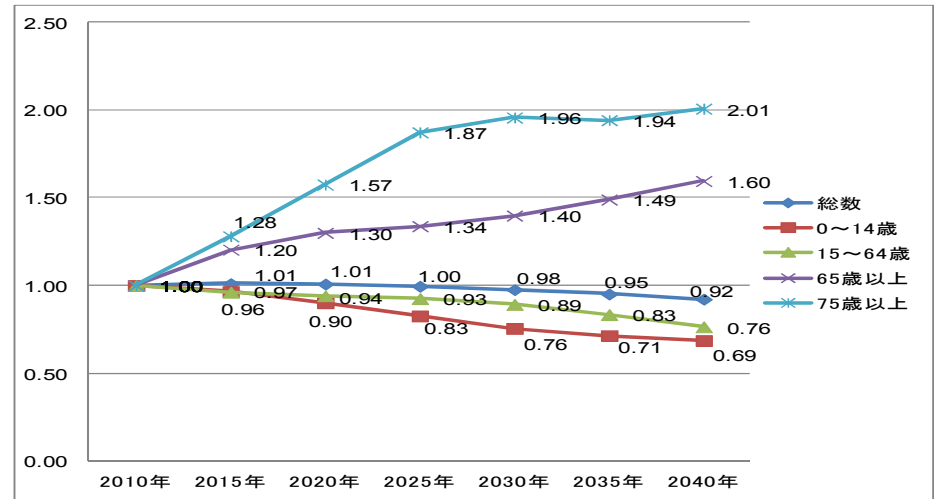


図 神奈川県の子年齢区分別人口の増加率の推移(2010年基準)



<出典> 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」(平成25年3月推計)

(2) 医療需要の将来推計

<入院及び在宅医療等の医療需要>

図 神奈川県の子入院及び在宅医療等の医療需要

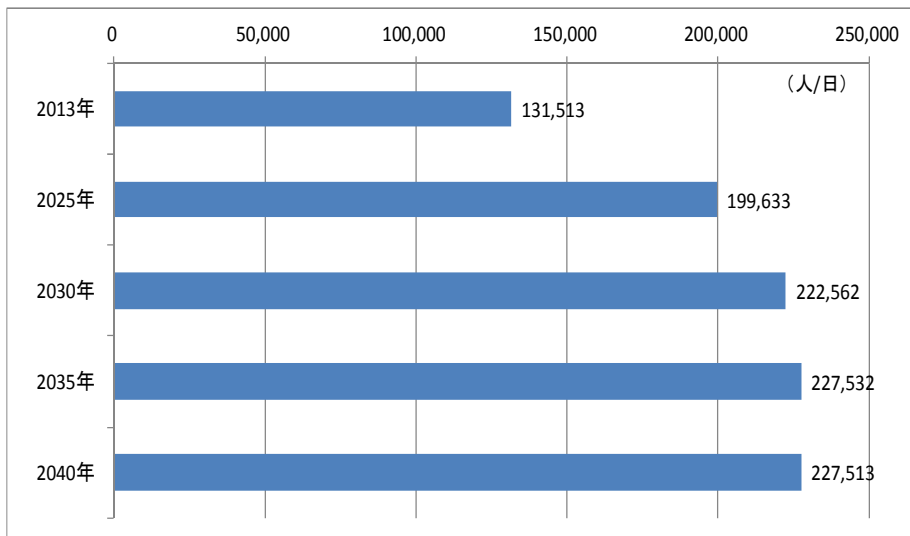
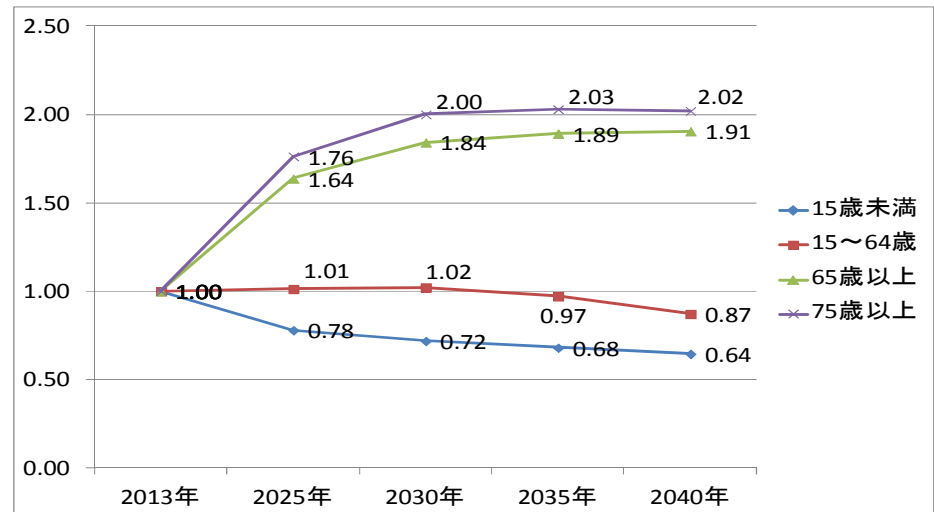


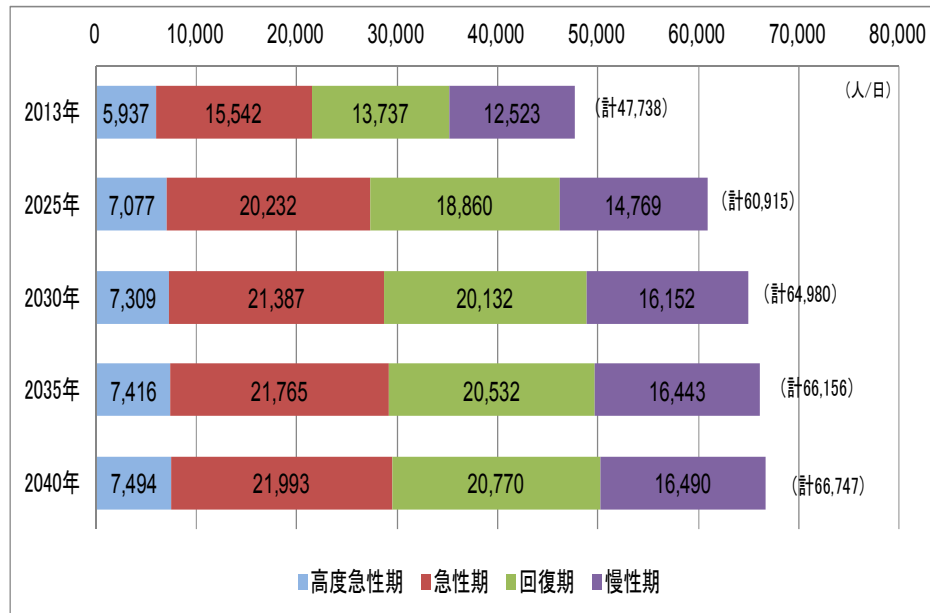
図 神奈川県の子年齢階級別の医療需要の増加率の推移



<出典> 厚生労働省 必要病床数等推計ツール(平成27年)

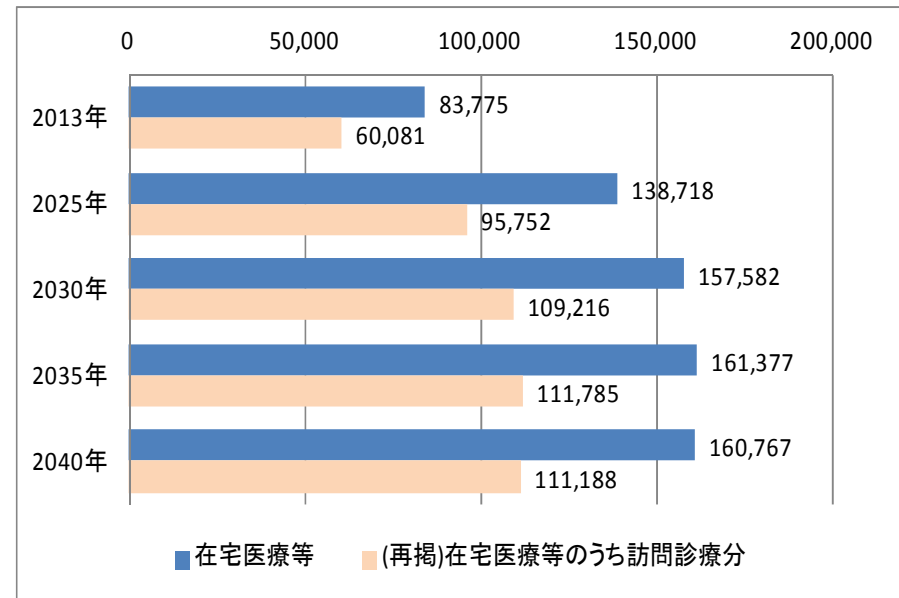
<入院医療需要>

図 神奈川県の入院医療需要の病床機能別推計



<在宅医療等の医療需要>

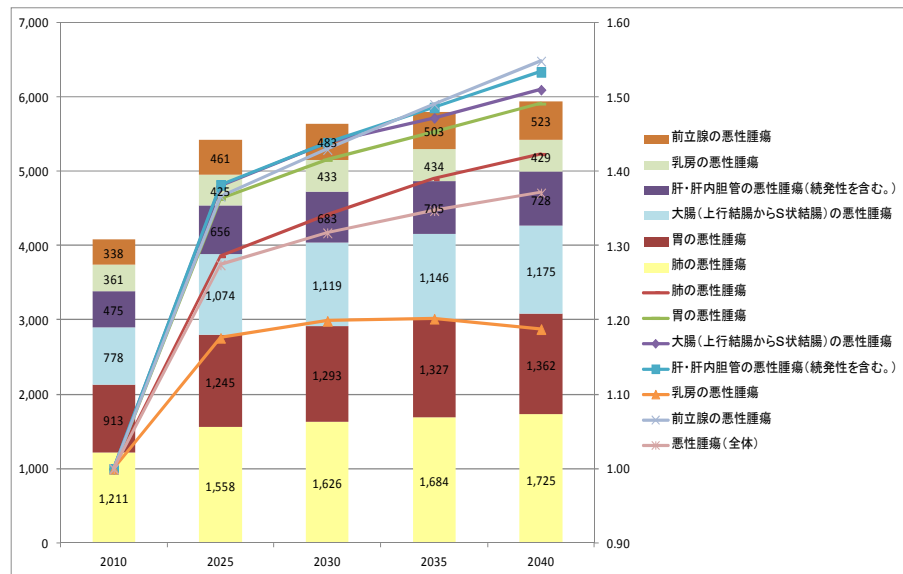
図 神奈川県の入院医療等の医療需要の将来推計



<出典>厚生労働省 必要病床数等推計ツール (平成27年)

<がん>

図 神奈川県のがんの入院医療需要の推移



【患者数】

	2010	2025	2030	2035	2040
肺の悪性腫瘍	1,211	1,558	1,626	1,684	1,725
胃の悪性腫瘍	913	1,245	1,293	1,327	1,362
大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	778	1,074	1,119	1,146	1,175
肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	475	656	683	705	728
乳房の悪性腫瘍	361	425	433	434	429
前立腺の悪性腫瘍	338	461	483	503	523

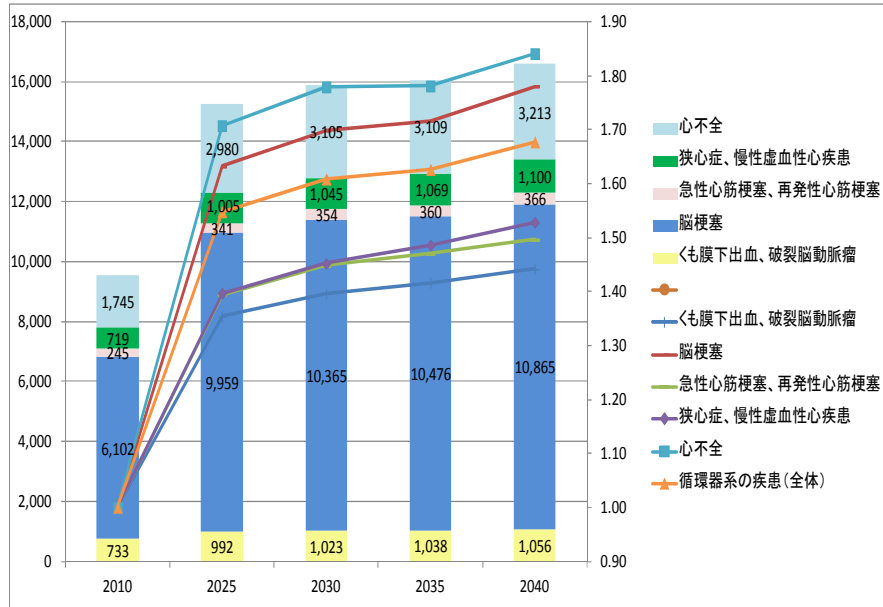
【増加率】

	2010	2025	2030	2035	2040
肺の悪性腫瘍	1.00	1.29	1.34	1.39	1.42
胃の悪性腫瘍	1.00	1.36	1.42	1.45	1.49
大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	1.00	1.38	1.44	1.47	1.51
肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	1.00	1.38	1.44	1.49	1.53
乳房の悪性腫瘍	1.00	1.18	1.20	1.20	1.19
前立腺の悪性腫瘍	1.00	1.37	1.43	1.49	1.55
悪性腫瘍(全体)	1.00	1.27	1.32	1.35	1.37

<出典>tableau public公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ペンジャミン光一 (国立がんセンター) 作成

<急性心筋梗塞、脳卒中>

図 神奈川県循環器系疾患の入院医療需要の増加率の推移



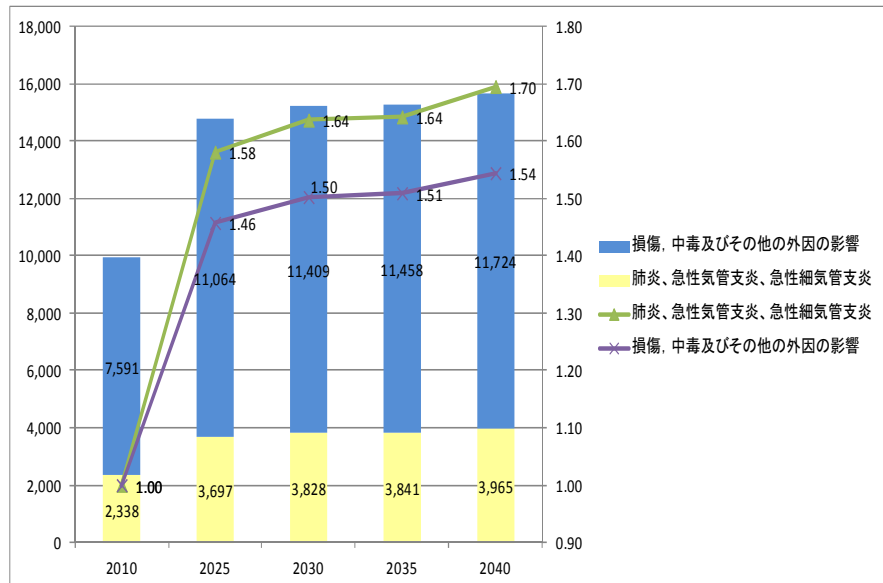
	2010	2025	2030	2035	2040
くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	733	992	1,023	1,038	1,056
脳梗塞	6,102	9,959	10,365	10,476	10,865
急性心筋梗塞、再発性心筋梗	245	341	354	360	366
狭心症、慢性虚血性心疾患	719	1,005	1,045	1,069	1,100
心不全	1,745	2,980	3,105	3,109	3,213

	2010	2025	2030	2035	2040
くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	1.00	1.35	1.40	1.42	1.44
脳梗塞	1.00	1.63	1.70	1.72	1.78
急性心筋梗塞、再発性心筋梗	1.00	1.39	1.45	1.47	1.50
狭心症、慢性虚血性心疾患	1.00	1.40	1.45	1.49	1.53
心不全	1.00	1.71	1.78	1.78	1.84
循環器系の疾患（全体）	1.00	1.55	1.61	1.63	1.68

<出典> tableau public公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ベンジャミン光一（国立がんセンター）作成

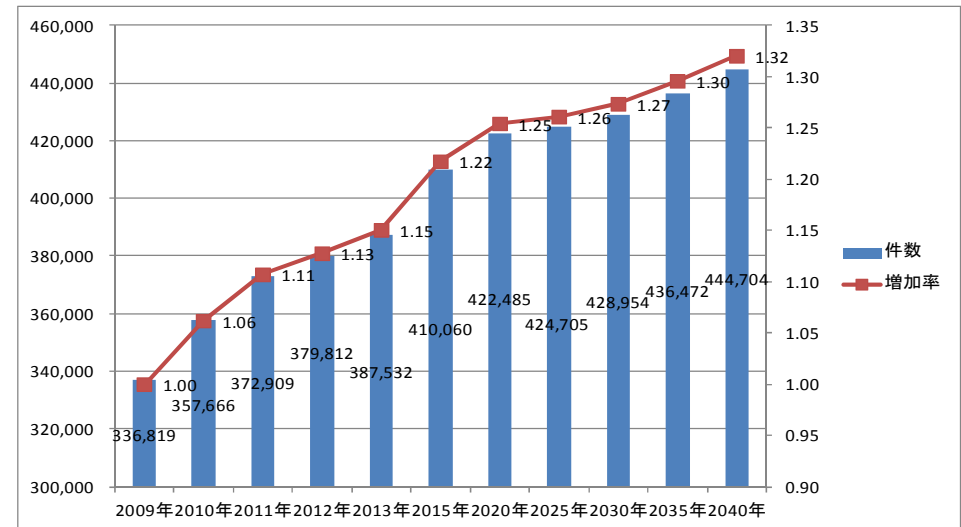
<肺炎及び骨折>

図 神奈川県肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎及び損傷、中毒及びその他の外因の影響の入院医療需要の増加率の推移



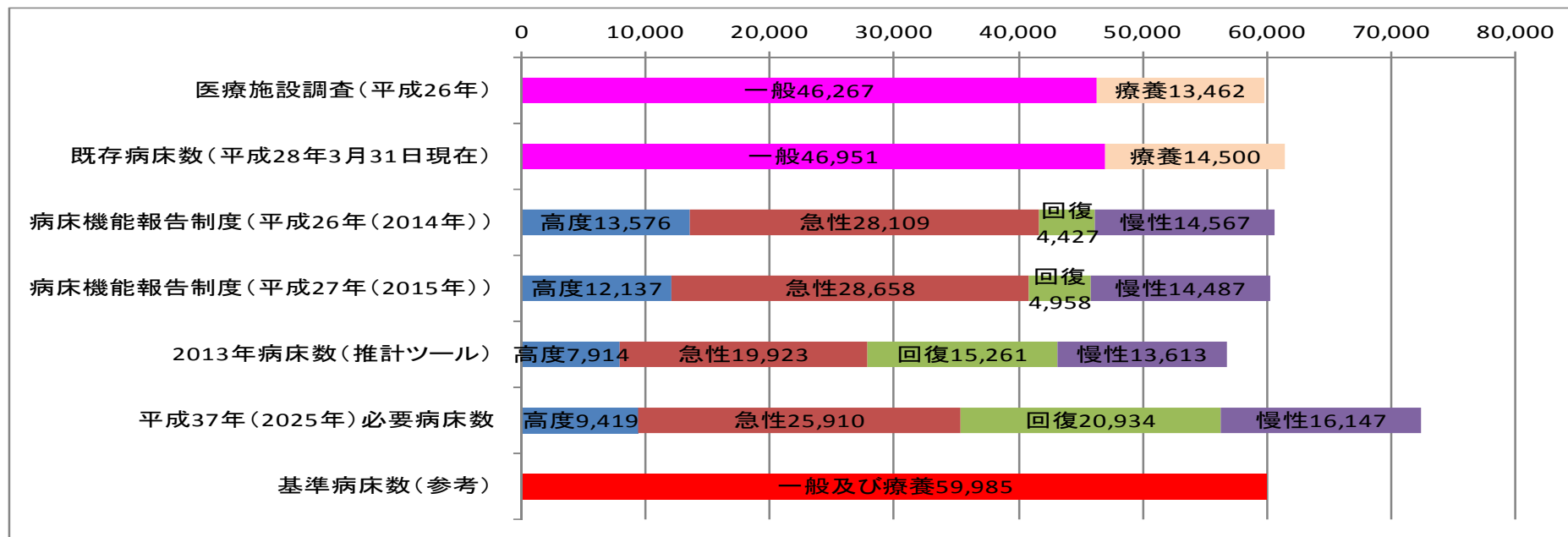
<救急>

図 神奈川県救急搬送件数（年間）の推移



<出典> 地域医療構想 (H28.10より)

神奈川県2025年における必要病床数の充足状況



区分	一般病床				療養病床	合計	備考	
	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計		
医療施設調査(平成26年)	46,267				13,462	59,729		
既存病床数(平成28年3月31日現在)	46,951				14,500	61,451	保健医療計画上の数値 (H19.1.1許可以前の有床診を含めていないことや補正 の関係から医療施設調査の結果と数値が異なる)	
現状	区分	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計	
	病床機能報告制度(平成26年(2014年))	13,576	28,109	4,427	46,112	14,567	60,679	地域医療構想を策定にあたり、現状把握の指標として 用いられるとされている数値。報告率94.2% 休棟中等 660床を除く
	病床機能報告制度(平成27年(2015年))	12,137	28,658	4,958	45,753	14,487	60,240	同上。報告率97.6% 休棟中等1,523床は除く
	平成25年(2013年)病床数(推計ツール)	7,914	19,923	15,261	43,098	13,613	56,711	将来の必要病床数の推計方法と同じ計算方法で算出 した平成25年(2013年)の病床数
将来	平成37年(2025年)必要病床数	9,419	25,910	20,934	56,263	16,147	72,410	
参考	基準病床数	-					59,985	

ヘルスケア・ニューフロンティア

最先端医療・ 最新技術の追求

iPS細胞研究



ロボット
医療機器



マイME-BYOカルテ



個別化医療の実現

未病の改善

運動習慣奨励



医食農同源



等

ライフスタイルの見直し

2つのアプローチを融合

健康寿命日本一 新たな市場・産業の創出

未病とは

健康

病気

健康

未病

病気

未病 …健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、このすべての変化の過程を表す概念

神奈川県における3つの特区

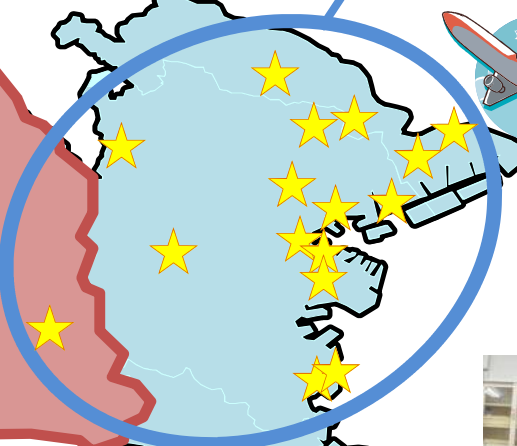
さがみロボット産業特区

京浜臨海部ライフイノベーション
国際戦略総合特区

羽田空港

さがみ縦貫道路

東京圏国家戦略特区



第7次神奈川県保健医療計画

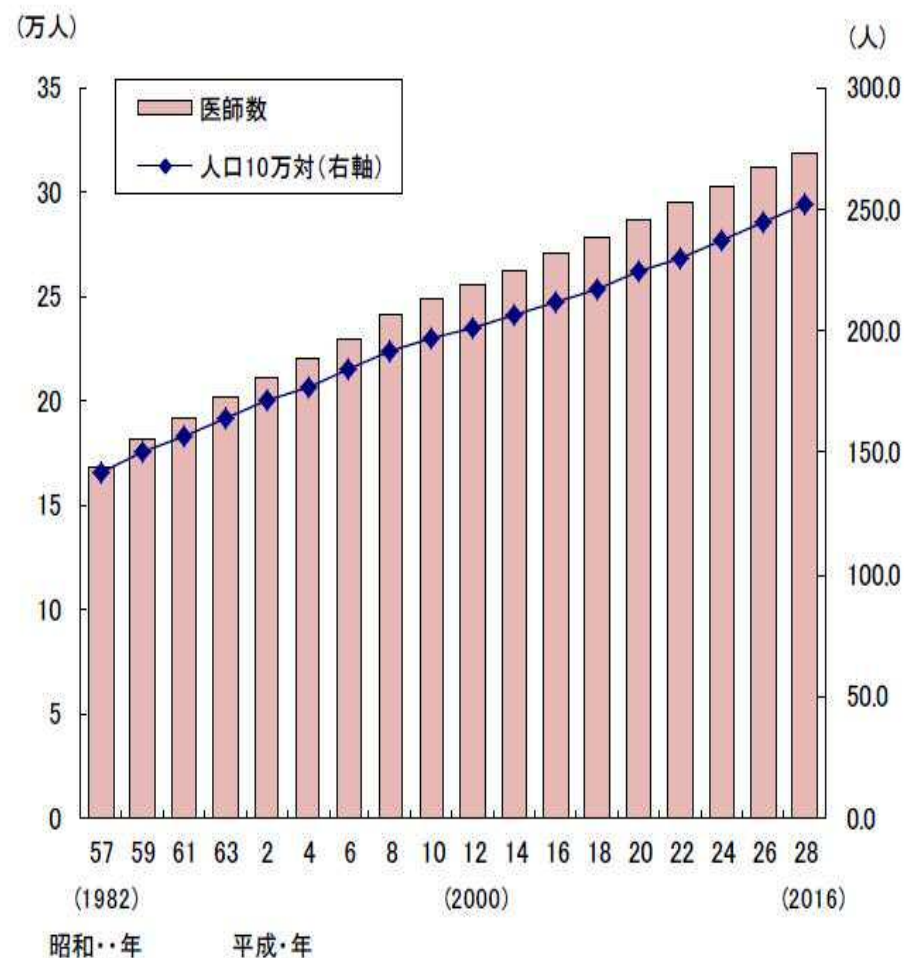
- ・ 保健医療圏と基準病床数
- ・ 医療体制の整備・充実
（救急、精神科、災害時、周産期、小児）
- ・ 5大疾病別の医療連携体制
（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）
- ・ 未病対策等の推進
（未病改善の取組みの推進、こころの未病対策、歯科保健対策、ICTの活用、国際的な保健医療人材の育成）
- ・ 地域包括ケアシステムの推進
（在宅、高齢者、障がい者、母子保健、難病、リハ）
- ・ 医療従事者の確保・育成
（医師、看護職員、歯科医師、薬剤師、その他の医療・介護従事者）
- ・ 患者の視点に立った安全・安心で質の高い医療体制の整備
（かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の普及）
- ・ 個別の疾病対策
（認知症、健康危機、感染症、肝炎、アレルギー等）
- ・ 地域医療構想
（計画の推進体制）

3. 医師の状況(全国)

医師の年次推移(全国)

各年12月31日現在

	医師数 (人)	増減率	人口 10万対 (人)
		(%)	
昭和 57 年 (1982)	167 952	...	141.5
59 ('84)	181 101	7.8	150.6
61 ('86)	191 346	5.7	157.3
63 ('88)	201 658	5.4	164.2
平成 2 年 ('90)	211 797	5.0	171.3
4 ('92)	219 704	3.7	176.5
6 ('94)	230 519	4.9	184.4
8 ('96)	240 908	4.5	191.4
10 ('98)	248 611	3.2	196.6
12 (2000)	255 792	2.9	201.5
14 ('02)	262 687	2.7	206.1
16 ('04)	270 371	2.9	211.7
18 ('06)	277 927	2.8	217.5
20 ('08)	286 699	3.2	224.5
22 ('10)	295 049	2.9	230.4
24 ('12)	303 268	2.8	237.8
26 ('14)	311 205	2.6	244.9
28 ('16)	319 480	2.7	251.7



施設・業務の種別にみた医師数(全国)

各年12月31日現在

	平成28年 (2016)		平成26年 (2014)	対前回		人口10万対(人)		
	医師数 (人)	構成割合 (%)	医師数 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)	平成28年 (2016)	平成26年 (2014)	増減数
総 数 ¹⁾	319 480	100.0	311 205	8 275	2.7	251.7	244.9	6.8
男	251 987	78.9	247 701	4 286	1.7	198.5	194.9	3.6
女	67 493	21.1	63 504	3 989	6.3	53.2	50.0	3.2
医療施設の従事者	304 759	95.4	296 845	7 914	2.7	240.1	233.6	6.5
病院の従事者	202 302	63.3	194 961	7 341	3.8	159.4	153.4	6.0
病院(医育機関附属の病院を除く)の開設者 又は法人の代表者	5 149	1.6	5 334	△ 185	△ 3.5	4.1	4.2	△ 0.1
病院(医育機関附属の病院を除く)の勤務者	141 966	44.4	137 321	4 645	3.4	111.8	108.1	3.7
医育機関附属の病院の勤務者	55 187	17.3	52 306	2 881	5.5	43.5	41.2	2.3
臨床系の教官又は教員	28 318	8.9	28 064	254	0.9	22.3	22.1	0.2
臨床系の大学院生	6 000	1.9	5 770	230	4.0	4.7	4.5	0.2
臨床系の勤務医	20 869	6.5	18 472	2 397	13.0	16.4	14.5	1.9
診療所の従事者	102 457	32.1	101 834	573	0.6	80.7	80.2	0.5
診療所の開設者又は法人の代表者	71 888	22.5	72 074	△ 186	△ 0.3	56.6	56.7	△ 0.1
診療所の勤務者	30 569	9.6	29 810	759	2.5	24.1	23.5	0.6
介護老人保健施設の従事者	3 346	1.0	3 230	116	3.6	2.6	2.5	0.1
介護老人保健施設の開設者又は法人の代表者	373	0.1	364	9	2.5	0.3	0.3	0.0
介護老人保健施設の勤務者	2 973	0.9	2 866	107	3.7	2.3	2.3	0.0
医療施設・介護老人保健施設以外の従事者	9 057	2.8	8 576	481	5.6	7.1	6.7	0.4
医育機関の臨床系以外の大学院生	627	0.2	561	66	11.8	0.5	0.4	0.1
医育機関の臨床系以外の勤務者	3 004	0.9	2 972	32	1.1	2.4	2.3	0.1
医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者	1 582	0.5	1 466	116	7.9	1.2	1.2	0.0
行政機関・産業医・保健衛生業務の従事者	3 844	1.2	3 577	267	7.5	3.0	2.8	0.2
行政機関の従事者	1 740	0.5	1 661	79	4.8	1.4	1.3	0.1
産業医	1 128	0.4	994	134	13.5	0.9	0.8	0.1
保健衛生業務の従事者 ²⁾	976	0.3	922	54	5.9	0.8	0.7	0.1
その他の者	2 301	0.7	2 554	△ 253	△ 9.9	1.8	2.0	△ 0.2
その他の業務の従事者	642	0.2	704	△ 62	△ 8.8	0.5	0.6	△ 0.1
無職の者	1 659	0.5	1 850	△ 191	△ 10.3	1.3	1.5	△ 0.2

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

性、年齢階級別にみた医療施設に従事する医師数(全国)

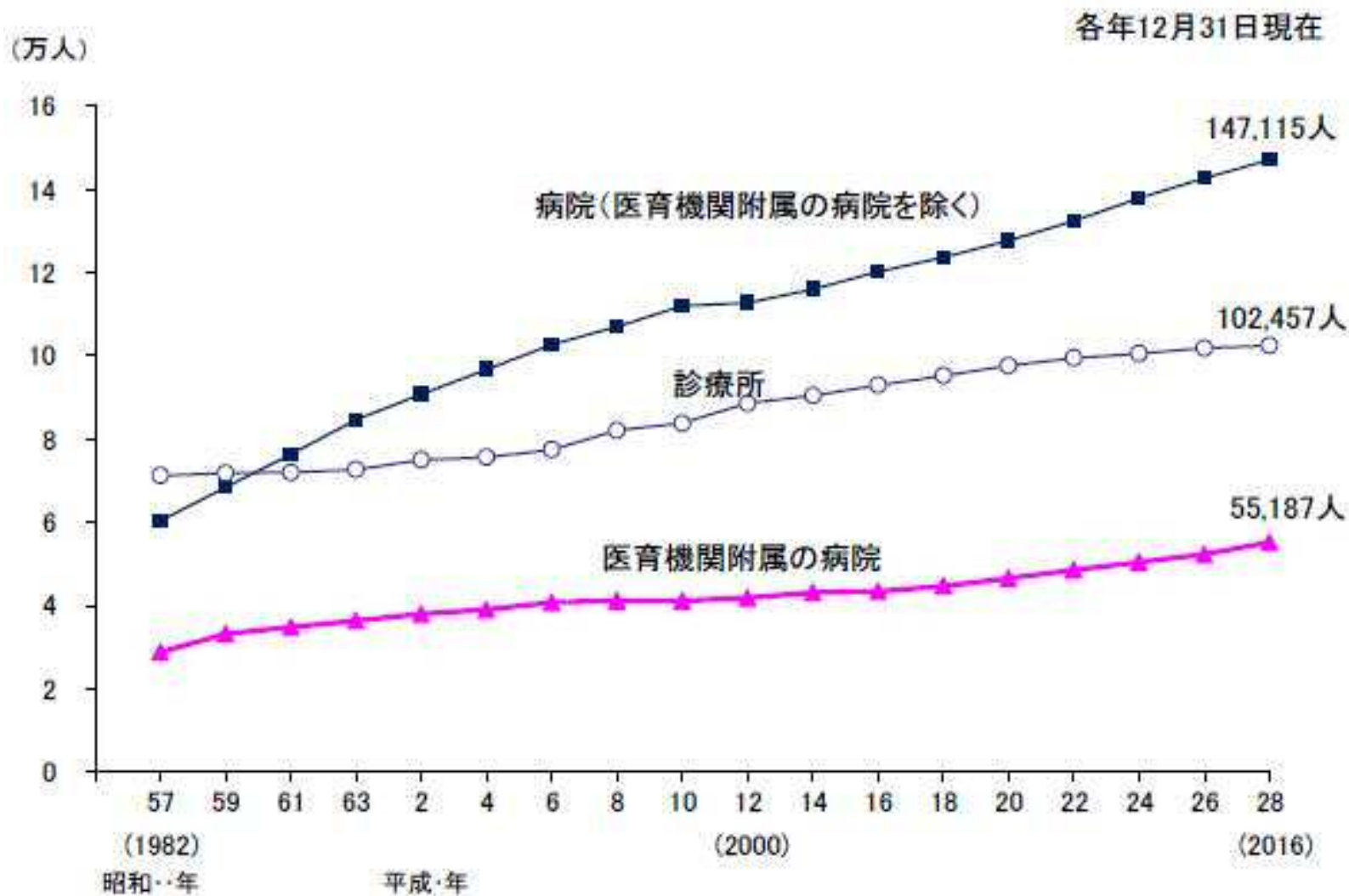
各年12月31日現在

			総数	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
医師数 (人)	平成28年 (2016)	総数	304 759	27 725	64 878	68 344	67 286	49 630	26 896
		男	240 454	18 128	44 523	51 726	57 179	44 590	24 308
		女	64 305	9 597	20 355	16 618	10 107	5 040	2 588
	平成26年 (2014)	総数	296 845	26 351	64 942	67 880	67 815	43 132	26 725
		男	236 350	17 186	44 750	52 933	58 395	38 853	24 233
		女	60 495	9 165	20 192	14 947	9 420	4 279	2 492
対前回	増減数 (人)	総数	7 914	1 374	△ 64	464	△ 529	6 498	171
		男	4 104	942	△ 227	△ 1 207	△ 1 216	5 737	75
		女	3 810	432	163	1 671	687	761	96
	増減率 (%)	総数	2.7	5.2	△ 0.1	0.7	△ 0.8	15.1	0.6
		男	1.7	5.5	△ 0.5	△ 2.3	△ 2.1	14.8	0.3
		女	6.3	4.7	0.8	11.2	7.3	17.8	3.9
構成割合 (%)	性・ 年齢階級別	総数	100.0	9.1	21.3	22.4	22.1	16.3	8.8
		男	78.9	5.9	14.6	17.0	18.8	14.6	8.0
		女	21.1	3.1	6.7	5.5	3.3	1.7	0.8
	年齢階級別	総数	100.0	9.1	21.3	22.4	22.1	16.3	8.8
		男	100.0	7.5	18.5	21.5	23.8	18.5	10.1
		女	100.0	14.9	31.7	25.8	15.7	7.8	4.0
	性別	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		男	78.9	65.4	68.6	75.7	85.0	89.8	90.4
		女	21.1	34.6	31.4	24.3	15.0	10.2	9.6

女性割合増:働きやすい環境づくりが課題

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

施設の種別に応じた 医療施設に従事する医師数の年次推移(全国)



(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

年齢階級、施設の種別にみた医療施設に従事する 医師数及び施設の種別医師の平均年齢(全国)

平成28(2016)年12月31日現在

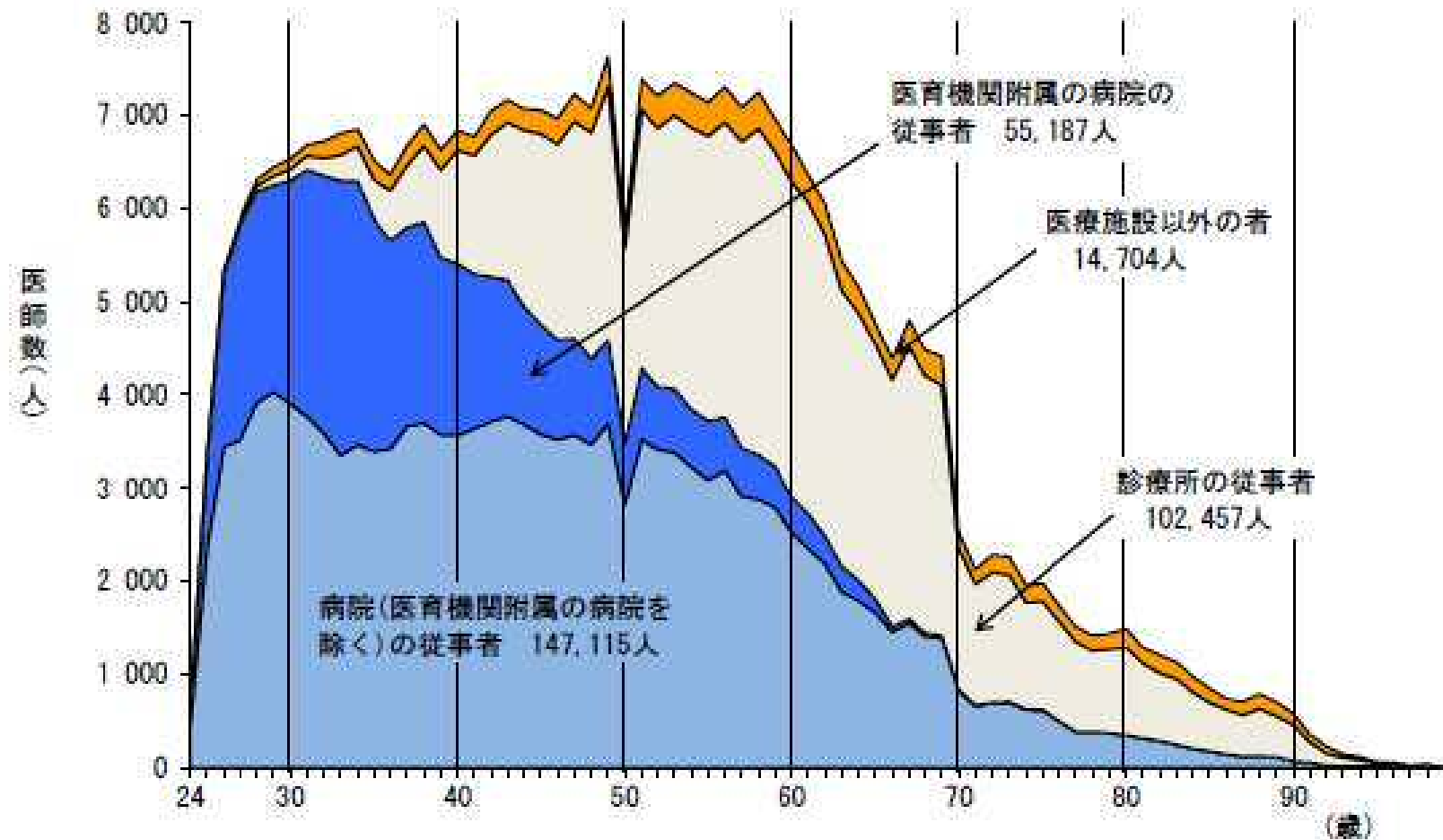
	病院・診療所の計		病 院						診療所	
			計		病院 (医育機関附属の病院を除く)		医育機関附属の病院			
	医師数 (人)	構成割合 (%)	医師数 (人)	構成割合 (%)	医師数 (人)	構成割合 (%)	医師数 (人)	構成割合 (%)	医師数 (人)	構成割合 (%)
総 数	304 759	100.0	202 302	100.0	147 115	100.0	55 187	100.0	102 457	100.0
29 歳 以 下	27 725	9.1	27 544	13.6	17 706	12.0	9 838	17.8	181	0.2
30 ~ 39 歳	64 878	21.3	60 338	29.8	35 827	24.4	24 511	44.4	4 540	4.4
40 ~ 49 歳	68 344	22.4	49 092	24.3	36 202	24.6	12 890	23.4	19 252	18.8
50 ~ 59 歳	67 286	22.1	37 248	18.4	31 216	21.2	6 032	10.9	30 038	29.3
60 ~ 69 歳	49 630	16.3	20 050	9.9	18 212	12.4	1 838	3.3	29 580	28.9
70 歳 以 上	26 896	8.8	8 030	4.0	7 952	5.4	78	0.1	18 866	18.4
平 均 年 齢	49.6歳		44.5歳		46.7歳		38.8歳		59.6歳	

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

施設の種別・年齢別にみた医師数

平成28(2016)年12月31日現在

医師数



(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

4. 医師の状況(神奈川県)

○ 神奈川県の医師数(医療施設従事
医師数)は、年々増加。

○ 平成28年末時点で、
人口10万人当たり、205.4人
(全国39位:前回39位)。

※全国平均:人口10万人あたり240.1人

※医師数は「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」(厚生労働省 平成28年12月31日現在)
対象人口のうち、全国と神奈川県全体は平成28年10月1日現在で集計

神奈川県における医師の状況(1)

二次保健医療圏別 主な診療科(6診療科)の医師数(医療施設従事医師数)

区 分	医療施設従事医師数		小児科		産科・産婦人科		内科		外科		麻酔科		救急科	
	医師数	人口10万人当たり医師数	医師数	15歳未満人口10万人当たり	医師数	15~49歳女性10万人当たり	医師数	人口10万人当たり医師数	医師数	人口10万人当たり医師数	医師数	人口10万人当たり医師数	医師数	人口10万人当たり医師数
全 国	304,759	240.1	16,937	107.3	11,349	43.6	72,910	57.4	28,012	22.1	9,162	7.2	3,244	2.6
神奈川県	18,784	205.4	1,109	97.7	772	38.8	4,141	45.3	1,435	15.7	617	6.7	248	2.7
横浜北部	2,817	178.6	186	89.0	153	41.4	648	41.1	156	9.9	78	4.9	33	2.1
横浜西部	2,279	205.9	114	83.8	90	38.1	508	45.9	195	17.6	81	7.3	29	2.6
横浜南部	3,033	289.7	217	180.8	116	52.7	560	53.5	212	20.2	149	14.2	38	3.6
川崎北部	1,682	198.3	102	95.3	67	33.5	363	42.8	120	14.2	41	4.8	19	2.2
川崎南部	1,548	241.5	80	100.0	61	40.4	347	54.1	146	22.8	53	8.3	31	4.8
横須賀・三浦	1,570	221.1	61	75.3	58	43.3	425	59.9	116	16.3	50	7.0	27	3.8
湘南東部	1,225	171.3	86	88.7	53	34.2	296	41.4	81	11.3	35	4.9	15	2.1
湘南西部	1,264	215.3	63	91.3	42	35.6	226	38.5	120	20.4	34	5.8	29	4.9
県 央	1,136	134.3	75	69.4	52	28.7	275	32.5	100	11.8	26	3.1	7	0.8
相 模 原	1,657	229.5	92	104.5	60	38.2	326	45.2	137	19.0	64	8.9	15	2.1
県 西	573	166.1	33	82.5	20	29.9	167	48.4	52	15.1	6	1.7	5	1.4

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査より神奈川県が作成)

神奈川県における医師の状況(2)

主な診療科(6診療科)別 医師数の推移(医療施設従事医師数)

区分	H20	H22	H24	H26	H28	人口10万人対医師数		
						神奈川		全国
						順位	数値	数値
総数	16,168	16,997	17,567	18,349	18,784	39位	205.4	240.1
内科	3,688	3,834	3,955	4,173	4,141	42位	45.3	57.4
外科	1,387	1,414	1,432	1,428	1,435	46位	15.7	22.1
産科・産婦人科	670	699	722	744	772	40位	38.8	43.6
小児科	1,001	1,038	1,085	1,122	1,109	32位	97.7	107.3
麻酔科	473	504	548	584	617	29位	6.7	7.2
救急科	199	216	229	253	248	14位	2.7	2.6

(平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査より神奈川県が作成)

図1・図2

医師数は平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成28年12月31日現在)、対象人口のうち、全国と神奈川県全体は平成28年10月1日現在、二次医療圏別は平成29年1月1日現在の推計人口

※ 小児科の15歳未満人口10万人当たり医師数、産科・産婦人科の15～49歳女性10万人当たり医師数の神奈川県の数値は、国数値(平成28年10月1日現在)に合わせるため、二次医療圏別で調整

内科は、内科・腎臓内科・糖尿病内科・血液内科で集計

外科は、外科・呼吸器外科・心臓血管外科・乳腺外科・気管食道外科・消化器外科(胃腸外科)・肛門外科・小児外科で集計

5. 神奈川県の医学部地域枠

神奈川県の医学部地域枠について①

- 地域枠医学生とは
将来、地域医療に貢献する意思がある者に対する文科省の増員枠として入学した方をいいます。地域医療に貢献するための一定の義務年限があります。
- 地域枠修学生とは
地域枠医学生のうち、修学資金の貸与を受けている方をいいます。
神奈川県では指定診療科の制限があります。

神奈川県医学部地域枠について②

区分	横浜市立大学地域医療枠 ①神奈川県地域医療枠 ②市大地域医療枠	神奈川県指定診療科枠 (産科等医師修学資金)	神奈川県地域枠 (地域医療医師修学資金)
根拠 (条例名)	① 緊急医師確保対策 ② 経済財政改革の基本方針2008	緊急医師確保対策 (神奈川県産科等医師修学資金貸付条例)	経済財政改革の基本方針2009(H22)、新成長戦略(神奈川県地域医療医師修学資金貸付条例)
修学資金	無し	有り	有り
実施大学	横浜市立大学	横浜市立大学	聖マリアンナ医科大学、平成24年から北里大学、東海大学を追加
開始年度	① 平成20年度 ② 平成21年度	平成21年度	平成22年度
実施期間	恒久的措置	平成21年～平成31年入学生	平成22年～平成31年入学生
人数	① 毎年度20名 ② 毎年度5名	毎年度5名	聖マリアンナ医科大学 毎年度5名(22年度～) 北里大学 毎年度5名(24年度～) 東海大学 毎年度5名(24年度～。ただし、24、25年度は3名)
診療科の範囲	指定なし	産科、小児科、麻酔科、外科	産科、小児科、麻酔科、外科、内科、救急科
義務年限	初期臨床研修を除く7年間	初期臨床研修を除く9年間	初期臨床研修を除く9年間
指定医療機関	指定なし(大学附属病院及び県内の医療機関)	県内の病院	県内の病院又は診療所

6. 地域医療支援センター

地域医療支援センター①

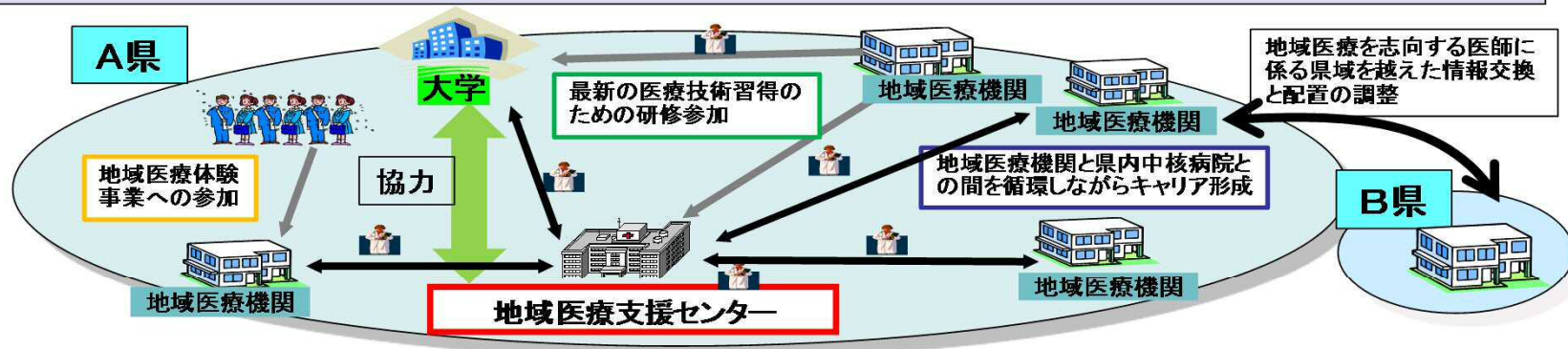
地域医療支援センターの国のイメージ図

地域医療支援センターの目的と体制

医師の地域偏在（都市部への医師の集中）の背景

➢ 高度・専門医療への志向、都市部の病院に戻れなくなるのではないかという将来への不安等

- 都道府県が責任を持って医師の地域偏在の解消に取り組むコントロールタワーの確立。
- 地域枠医師や地域医療支援センター自らが確保した医師などを活用しながら、キャリア形成支援と一体的に、地域の医師不足病院の医師確保を支援。
- 医師確保の実働部隊として、喫緊の課題である医師の地域偏在解消に取り組む。
 - ・設置場所：都道府県庁、〇〇大学病院、都道府県立病院等



地域医療支援センターの業務

○ 医師不足の状況等の把握、分析

○ 医師不足病院の支援

○ 医師のキャリア形成支援

○ 地域医療関係者との協力関係の構築

○ 情報発信と相談への対応

地域医療支援センター②

■ 神奈川県地域医療支援センター

【設置時期】 平成27年10月

【事務局】 神奈川県 医療課 内

【主な活動】

- ・地域枠等の医学生へのガイダンス・個別相談
- ・臨床研修医師等、若手医師からの相談対応
- ・医師確保等に関する医療機関からの相談対応
- ・県内医学生と地域医療について語る会【本日】
- ・臨床研修医交流会
- ・臨床研修病院合同説明会
- ・医師募集情報コーナー(Web)の運営 など

お気軽にご相談下さい！

神奈川県地域医療支援センター

(事務局)

神奈川県 保健福祉局 保健医療部 医療課

地域医療・医師確保対策グループ


(所在地) 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

※神奈川県庁 新庁舎3階

(電話) 045-210-4877(ダイヤルイン)

(メール) ouhuku-ishikakuho@pref.kanagawa.jp

(担当)大日向、中山、佐々木



これからの地域医療を担っていく皆さん
が活躍されることを期待しています！